



東山魁夷《年暮る》1968(昭和43)年 紙本・彩色 山種美術館蔵

第 121 期

2019年4月1日～2019年9月30日

中間株主通信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第121期上半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、決算概況等につきましてご報告いたします。



## 第121期（2020年3月期）上半期について

第121期上半期におけるわが国の経済は、自然災害発生や世界経済の減速等がありましたが、総じてみれば、底堅い国内経済を背景に消費税増税前の駆け込み需要等もあり堅調に推移しました。

このような状況下で、物流業界におきましては、消費関連貨物および生産関連貨物は堅調を維持し、倉庫保管残高は前年を上回って推移しました。一方で、国際貨物については米中貿易摩擦等の影響が懸念されます。また、人材不足や労働条件改善等を背景として、運賃や荷役作業費等が上昇しております。

コメ流通業界におきましては、生産調整目標廃止後の最初の米穀年度として注目されましたが、コメ取引の需給は緩むことなく、取引価格は堅調に推移しました。

情報サービス業界におきましては、生産性向上やセキュリティ強化のために、最新IT技術の導入やシステム再構築の動きが続いております。

不動産業界におきましては、都市部を中心に活発な取引が続き、都心部の賃貸オフィスビル市場の空室率低下も続いており、賃料水準も上昇傾向が続いております。

このような環境下で、ヤマタネグループの上半期連結業績は、不動産部門において前期に実施した販売用不動産売却（13億64百万円）の剥落による減収要因はありましたが、物流部門と食品部門において増収となり、売上高は276億93百万円（前年同期比1.1%増）となりました。一方、営業利益は不動産部門における販売用不動産の売却益剥落（12億72百万円）を主に19億23百万円（同42.6%減）となり、経常利益は不動産開発に伴う資金調達費用の増加等もあり16億74百万円（同47.5%減）となりました。また、親会

社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益に加え前期に計上した企業年金基金脱退損失が今期は発生しないこと等の増益要因はありましたが、10億94百万円（同39.6%減）となりました。

## 2 今後の展望について

今後を展望いたしますと、わが国の経済は、消費税増税の影響等で短期的には減速感が強まる可能性があるものの、省力化やIT化のための設備投資や個人消費を中心とした内需に牽引され、緩やかな景気回復が続くと見込まれます。

このような状況下で、中期経営計画「ヤマタネ2022プラン」の初年度となります第121期（2020年3月期）の連結業績予想につきましては、売上高は物流部門における主要顧客の配送センター機能の拡充や食品部門におけるコメの販売数量増加を主因に、553億70百万円（前期比3.6%増）の増収を予想しております。一方、利益面では、不動産部門において前期に実施した販売用不動産の売却実績の剥落に加え、物流部門での拠点新設に伴う初期コストの発生や不動産部門における五反野および藤沢再開発に伴う減収減益等により、営業利益は34億70百万円（同35.2%減）、経常利益は30億40百万円（同40.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は18億20百万円（同17.8%減）を予想しております。これは、今期期初に計画した目標通りであります。

## 3 中長期的な会社の経営戦略の推進状況について

今期より、「ヤマタネ2024ビジョン」の実現に向けた3つのフェーズ（HOP・STEP・JUMP）のうち「第2フェーズ（STEP）」として、新3ヵ年計画「ヤマタネ中期経営計画2022プラン」を推進中です。

新3ヵ年計画では、成長基盤の構築に最注力しております。物流部門におきましては、印西市における新倉庫の開発は詳細設計の段階に入っており、今年度内に着工の予定です。また、首都圏湾岸部においても11月に大手食品メーカーの大型物流センター機能を担う「辰巳営業所」を開設しました。食品部門におきましては、産地と連携し仕入れルート of 拡大・強化に取り組みます。特に当社が契約栽培をしております多収穫品種「萌えみのり」「あきだわら」につきましては、令和元年産では1万3千トンにまで拡大し、新3ヵ年計画の最終年度までには、更に拡大してまいります。また、不動産部門におきましては、日本橋兜町および藤沢のほか、新たに五反野を加えた3拠点で再開発に着手しました。藤沢および五反野は2020年、兜町は2021年に完成し収益に大きく貢献する予定です。

「ヤマタネ2024ビジョン」につきましては、刻々と変化する環境等に機動的かつ柔軟に対応しながら計画を磨き上げ、その実現に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

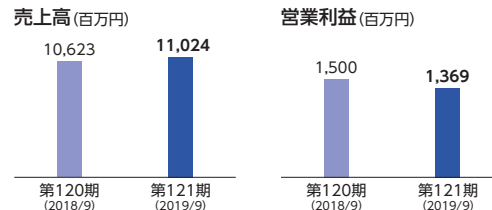
代表取締役社長

山崎元裕

## 物流部門

■ 売上高 11,024百万円 ■ 営業利益 1,369百万円

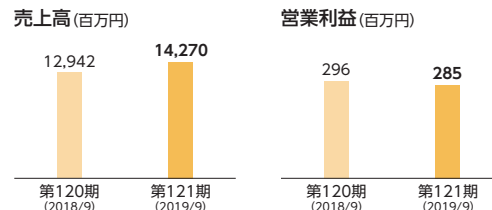
物流部門では、底堅い国内経済を背景に消費税増税前の駆け込み需要も加わり、倉庫の保管残高は堅調に推移し、運送収入も増収になりました。加えて、国際業務でも海外引越や港運通関業務が順調に推移し、売上高は110億24百万円(前年同期比3.8%増)となりました。一方で営業利益は、一部大口先の取引内容の見直しに加え、荷役や付帯作業を中心とした人件費増加による差益率の低下により13億69百万円(同8.8%減)となりました。



## 食品部門

■ 売上高 14,270百万円 ■ 営業利益 285百万円

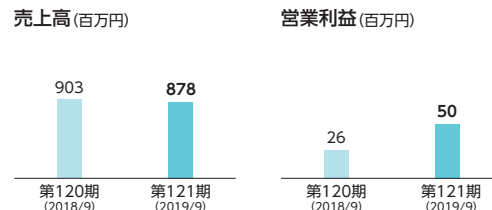
食品部門では、継続的にマーケットが縮小する中で顧客ニーズに対応した商品をタイミング良く提供することにより、量販・外食向けである精米販売は37千玄米トン(前年同期比6.4%増)、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は12千玄米トン(同26.6%増)となり、総販売数量は50千玄米トン(同10.9%増)となりました。売上高は、販売数量の増加により142億70百万円(前年同期比10.3%増)となりました。一方で営業利益は、販売面での価格競争の激化による差益率の低下や配送費の増加等により2億85百万円(同3.8%減)となりました。



## 情報部門

■ 売上高 878百万円 ■ 営業利益 50百万円

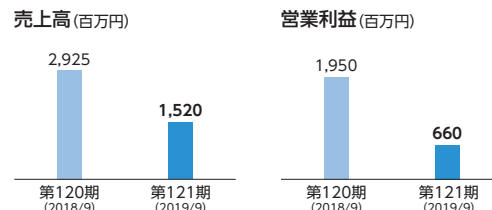
情報部門では、汎用機のシステム基盤構築案件が金融機関を中心に縮小したこと等により売上高は8億78百万円(前年同期比2.8%減)となりました。一方で営業利益は差益率の高い開発案件が増加したこと等により50百万円(同88.9%増)となりました。



## 不動産部門

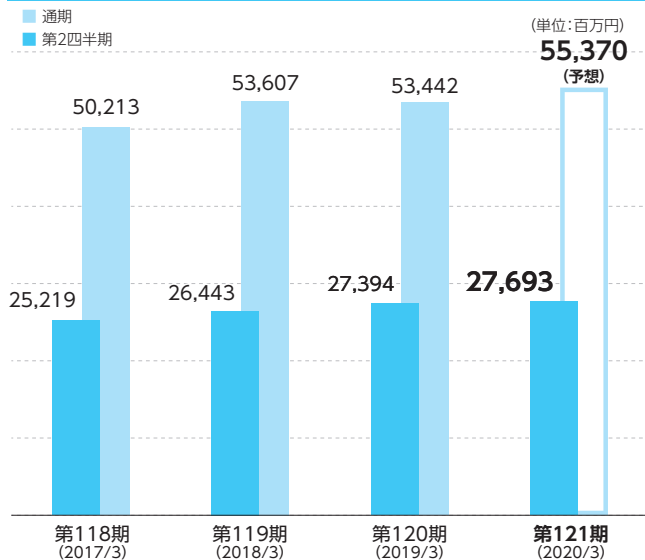
■ 売上高 1,520百万円 ■ 営業利益 660百万円

不動産部門では、前期実施した販売用不動産売却による増収要因が剥落したことに加え、主力物件の再開発に伴う建替え工事により賃貸料収入が減少し、売上高は15億20百万円(前年同期比48.0%減)となり、営業利益は6億60百万円(同66.1%減)となりました。

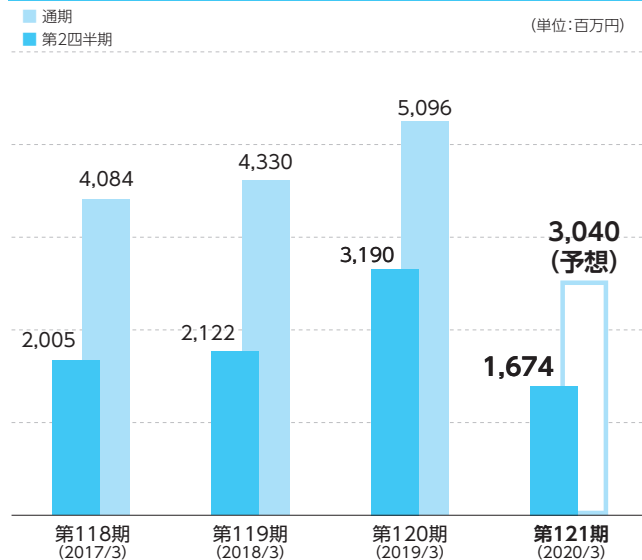


(注) 第1四半期連結会計期間において、当社から連結子会社である株式会社ヤマタネロジワークスへ「ストックテイ君事業」のうち陳列・棚卸事業を吸収分割の方法により事業譲渡いたしました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間のセグメント別の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

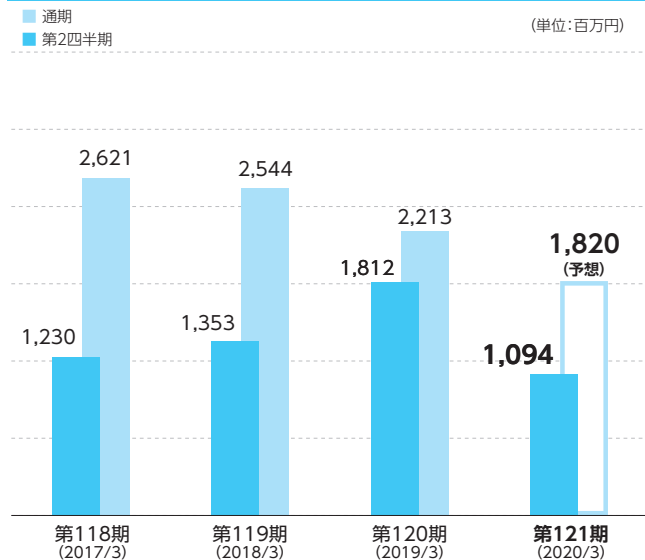
### 売上高



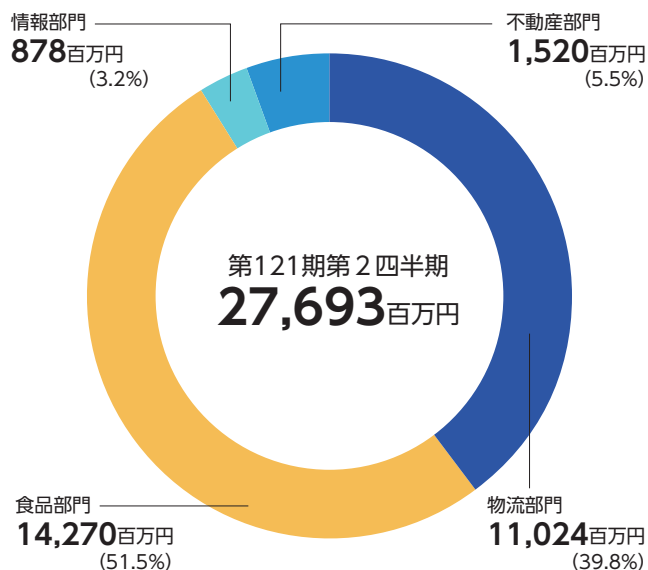
### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 部門別売上高比率



## 辰巳営業所開設に関するお知らせ



▲外観イメージ

当社は今年11月、東京都江東区に辰巳営業所を開設いたしました。当社の顧客である大手食品メーカーの大型物流センター機能を担い、主に首都圏向けの配送業務を行います。

### 施設概要

所在地	東京都江東区辰巳三丁目9番地14号
敷地面積	8,810.00㎡ (2,665.02坪)
延床面積	26,781.17㎡ (8,101.30坪)
主要構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上6階建
設備	常用EV3基、貨物用EV1基、垂直搬送機3基
開設時期	2019年11月

## 足立区所有物件の建替え計画について



▲外観イメージ

当社のグループ会社であります山種不動産株式会社は、「サミットストア五反野店」が入居しておりました東京都足立区に所有する不動産に関しまして、建替えを実施することといたしました。建替え後は「サミットストア五反野店」に加え、飲食店・診療所等の入居する複合施設となる予定です。

### 施設概要

所在地	東京都足立区中央本町二丁目51番1他
敷地面積	6,625.93㎡ (2,004.34坪)
延床面積	8,894.63㎡ (2,690.62坪)
主要用途 (予定)	1-3階：店舗（物品販売）、飲食店、診療所、駐車場、駐輪場
主要構造	鉄骨造、一部RC造
竣工時期	2020年11月予定

※記載の内容は、今後の詳細検討により変更になる可能性があります。



山種美術館 広尾開館10周年記念特別展

## 東山魁夷の青・奥田元宋の赤 一色で読み解く日本画一

2019年11月2日(土)~12月22日(日)

「東山魁夷の青・奥田元宋の赤」などと称されるように、絵画の中の色は、作品のイメージや画家本人の世界観を伝えるうえで、重要な役割を担ってきました。本展では、《年暮る》で雪降る京都を青色で静謐に表した魁夷、《奥入瀬(秋)》で紅葉した奥入瀬渓流を赤色で鮮麗に描いた

元宋をはじめ、竹内栖鳳、奥村土牛など色を効果的に取り入れた日本画家の作品を約50点展示します。画家自身の言葉や社会的背景などのエピソードなどを交えながら、色と画家の密接な関わりをひもとき、豊かな色彩により表現された世界をご紹介します。

※作品はいずれも山種美術館蔵

会場	山種美術館
主催	山種美術館、日本経済新聞社
協賛	SMBC日興証券
協力	谷中得応軒
開館時間	午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日 [但し、11/4(月)は開館、11/5(火)は休館、12/23~1/2は展示替と年末年始休館]
入館料	一般1,200円(1,000円)・大高生900円(800円)・中学生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金および前売料金
お問い合わせ	03-5777-8600 (ハローダイヤル)
URL	<a href="http://www.yamatane-museum.jp/">http://www.yamatane-museum.jp/</a>

### 今後の展覧会

- 山種美術館 広尾開館10周年記念特別展  
上村松園と美人画の世界  
2020年1月3日(金)~3月1日(日)
- 特別展  
桜さくらSAKURA 2020—美術館でお花見！  
2020年3月14日(土)~5月10日(日)

詳細は山種美術館HPをご覧ください

図版：右・小林古徑《採采》1934(昭和9)年 紙本・彩色 山種美術館  
左・奥田元宋《奥入瀬(秋)》1983(昭和58)年 紙本・彩色 山種美術館

## ● 会社概要

商号	株式会社ヤマタネ Yamatane Corporation
創業	1924年7月
資本金	105億55百万円
従業員数	811名(連結) (単体 321名)

## ● 役員 (2019年11月30日現在)

取締役社長	山崎 元裕	社外取締役	岡 伸浩
専務取締役	角田 達也	社外取締役	仁 瓶 眞平
専務取締役	鈴木 康道	常勤監査役	土 屋 修
常務取締役	曾我部 誠	常勤監査役	馬 場 敏行
取締役	平田 実	社外監査役	内 藤 潤
取締役	長谷川 哲彦	社外監査役	太 田 律子

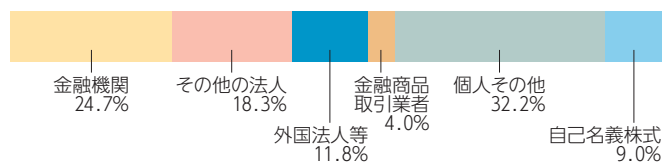
## ● 株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	11,344,181株
株主数	7,253名

## ● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	565	5.5
株式会社三井住友銀行	517	5.0
山崎 元裕	420	4.1
東京海上日動火災保険株式会社	311	3.0
S M B C 日興証券株式会社	302	2.9
清水建設株式会社	300	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	289	2.8
ヤマタネ従業員持株会	287	2.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	280	2.7
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM.	260	2.5

## ● 株式分布状況



## ● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html">https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html</a>
定時株主総会	毎年6月開催	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	公告の方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="https://www.yamatane.co.jp/">https://www.yamatane.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。
		(電話照会先)	☎0120-782-031	上場証券取引所	東京証券取引所

## 株式に関する住所変更等のお手続きおよびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

## 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。) を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。